

栄養管理事例報告（学校栄養分野：集団指導）

所属栄養士会： 都・道・府・ 県	事例番号： 2
会員番号： △△-△△△△	事例報告： 新規提出 ・再提出・
勤務施設名： ○○○○○○○○○○○○○○○○○	症例介入： 主担当者 ・副担当者・
提出者氏名： ○○○○	介入期間：平成 年 月 日～平成 年 月 日

	対象者	中学校2年生
I 目標・計画	目標及び計画内容等	<p>特別活動（学級活動）：成長期の望ましい食生活 生徒の実態：食生活調査結果によると・・・。</p> <p>目標：成長期における栄養摂取の重要性について理解させ、自分の成長や運動量に応じた栄養バランスのとれた望ましい食事をとることができるようにする。</p> <p>目標設定の理由：食生活調査の結果から、・・・という問題点がわかった。 そこで、自分の食べている食事内容を見直し、さらに改善しようとする意欲を高め、望ましい食習慣の形成に主体的に取り組む姿勢を養いたいと考えた。</p> <p>食育の視点：心身の成長や健康の保持増進と望ましい栄養や食事の摂取との関係を理解し、健康に関する自己管理能力を身につける。</p> <p>指導計画：事前…食生活調査、 本指導…1時間 「食生活改善宣言をしよう」 事後…給食時間、お便りで家庭へ協力を依頼する、事後調査</p> <p style="text-align: right;">等</p>
II 指導	指導内容	<p>①調査結果から自分の食生活を振り返らせ、食事のとり方や栄養の偏りなど自分の食生活の課題をつかませる。</p> <p>②中学生の時期に多くの栄養が必要な理由について話し合いをさせる。</p> <p>③中学生と成人のエネルギー必要量の違いや中学生の時期に特に配慮が必要な栄養素について気づかせ、成長期における望ましい食生活について理解させる。</p> <p>④生徒に食事処方を示して、1日に必要な食事量をつかませる。</p> <p>⑤個々の食生活の改善点や成長期の自分に合った食事のとり方について考えさせ、実践することを決めさせる。</p> <p style="text-align: right;">等</p>
III 指導の評価	指導の効果等の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が自らの食生活の問題点に気づき、自分でできる改善点や実践することを決めることができた。 ・話し合い活動により、成長期の栄養のとり方について関心を高めることができた。 ・事後調査を行った結果は・・・であった。 <p style="text-align: right;">等</p>
IV 改善	評価の結果からの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・事後調査で○○と答えている生徒が○%いることから、・・・を学級担任等と協力しながら、継続して支援を行っていくようにする。 ・保健体育科の保健分野「健康な生活と疾病の予防」や技術・家庭科の家庭分野「食生活と自立」での中学生の栄養と食事とも関連を図り、成長期における望ましい食生活についての知識を深め、実践への意欲を高めていきたい。そのために指導内容において・・・を工夫していきたい。 ・保護者に行った調査の中で要望があった「栄養バランスのよい簡単朝食レシピ」や「受験に向けての夜食レシピ」などを家庭に配布した。 <p style="text-align: right;">等</p>

※ 指導案・板書計画を添付してください。